

活動報告書

団体名	イングリッシュガーデン
事業名	四條畷アートカーニバル
事業実績の概要 (月日、参加者数等)	4月20日から順次、活動開始、招待アーティストたちが四條畷を来訪、展示場所の確認をしたあと、展示場所に合う作品制作開始。 6月から毎日インスタ、FACE BOOK を更新、来年につなげるためイベント終了後もアーカイブとして毎日更新。 9月13日金曜日、えにし庵以外の場所の搬入、展示、設営。 9月14日土曜日カーニバル開催 来場者は6会場合わせておおよそ300人。 9月16日えにし庵設営。 9月16日～20日までは毎日100人程度の来場者。 9月21日～23日はキャンドルナイトとして夜8時まで会場を開放。 盛り上げるためにフラメンコや招待ミュージシャンを神社やえにし庵にて演奏をお願いする。 最終日、えにし庵でのアカダチアキ氏&谷口智則氏の同時ライブペインティングには200人が来場。 10日間の延べ人数は1300人程度。 アーティストは30名以上にのぼり、驚くほどのクオリティーの高さとなったイベントに仕上がった。
事業の効果	四條畷市、四條畷神社の知名度があがり、四條畷市を初めて訪れる方々も多かった。市民の方々もたくさんおいでいただいた。 読売新聞、YOMIURLINE に掲載、大変評価される。 ヤフーLINE ニュースにも二度載り、周知が未熟なイベントのわりに来場者、同様数の高評価を得る。
参加者からの声	○こんな質の高いアーティストが四條畷市にいたんなんて。 ○これが無料でみられるとは。 ○初めて見るダンスなどのパフォーマンスは圧巻。 ○フラメンコチームやお琴のチームが地元にいた！

	○また是非来年もしてください。 ○全く知らなかった。来年はアーティストとして参加したい。 ○神社までの道のりが酷暑で地獄だった。 ○次回は涼しい時にしてほしい。 ○素晴らしい作家さんの作品を見て、心から感動した。 等多数
今後の課題点、改善点等	暑すぎたので時期を選ぶ。 宣伝が行き渡らず、たまたま通りがかった方々から「全然知らなかった」という人が多かったため、宣伝方法を再考する。 キャンドルナイトの労力が大変すぎたので次回はなしに 赤字で個人協賛金に頼ったので次回は有料のパフォーマンスを設定し、個人支援に頼らないようにする。
今後の展望	既に招待作家は7人、公募作家8名、谷口氏も参加表明。 今回展示していただいた7カ所は全箇所OK。 大阪万博があるため、11月の頭か10月の最終週を考慮。
事業の自立に向けた計画	パフォーマンスを有償にする。 基本的にこのような大規模なイベントは自治体が主催で文化庁などの助成金を得るのが一番だと思うが、パフォーマンスを有償、招待作家の枠を減らし公募坂を増やせば自立できる。